

基本戦略

1 子どもを生き育てたいという希望をかなえる

- ① 未婚化・晩婚化への対応
- ② 地域特性に応じた子育て支援の充実
- ③ 仕事と子育てを両立できる職場環境づくり
- ④ 子どもの安全・安心の確保

2 住み続けたいと思える生活環境を整える

- ① 協働によるまちづくりとコミュニティの再構築
- ② 安心を支える医療・福祉サービスの確保
- ③ 地域における交通ネットワークや買い物物の利便性の確保
- ④ 地域や未来を担う人づくり
- ⑤ 防災・防犯など暮らしの安全・安心の確保

3 食や観光をはじめとする力強い産業と雇用の場をつくる

- ① 地域を支える農林水産業の成長産業化
- ② 地域資源を活かした食関連産業の振興
- ③ 観光産業の先進地・北海道の実現
- ④ 高い付加価値を生み出すものづくり産業の振興
- ⑤ 域内循環型ビジネスの育成・拡大
- ⑥ 中小・小規模企業の競争力の強化
- ⑦ 北海道の強みを活かした企業等の誘致
- ⑧ 市場規模やニーズの変化に応じた産業の創造
- ⑨ 多様な人材の活躍推進、担い手対策

4 北海道らしさを活かして人を呼び込み・呼び戻す

- ① 交流人口の拡大
- ② 独自の歴史・文化の発信
- ③ 居住環境の魅力を活かした移住・定住の促進

5 多様性を活かし、北海道らしい連携により地域を形づくる

- ① 多様な強みを持つ地域づくり
- ② 自治体の広域的な連携
- ③ 札幌圏の人口集中への対応

地域戦略

1 振興局内の様々なエリアにおける施策展開

空知地域	米どころ空知の農業と関連産業の振興 など
石狩地域	若い世代の結婚・子育てに関するポジティブ・マインドの形成など少子化対策の加速 など
後志地域	多彩な地域資源を活用した国際観光リゾートエリアの形成 など
胆振地域	世界の課題に応える産業拠点の形成促進と雇用の創出 など
日高地域	「ひだか」地域を支える農林水産業の振興 など
渡島地域	北海道新幹線開業効果を最大限に発揮した交流人口の拡大 など
檜山地域	「日本海漁業振興基本方針」に基づく漁業の活性化など農林水産業の振興 など
上川地域	天塩川や大雪山など魅力ある地域資源を活かした上川地域への来訪促進 など
留萌地域	南北に細長く自然条件に応じて展開される多彩な農林水産業の振興と雇用の創出 など
宗谷地域	豊かな土地資源を活かした酪農と海域の特性に応じた栽培漁業の推進 など
オホーツク地域	国内外への販路拡大などによる農林水産業の強化 など
十勝地域	「食の総合産業化」の推進による地域産業の振興 など
釧路地域	「根釧路農ビジョン」の実現に向けた具体的取組の展開 など
根室地域	子育て支援の充実など少子高齢社会への対応 など

2 振興局を越えた広域連携による施策展開

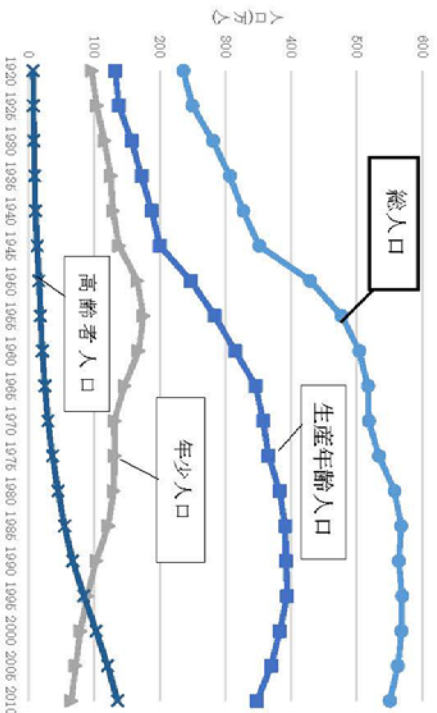
地域特性を活かしたスポーツ合宿適地としてのブランド化の推進(オホーツク、上川)
北海道新幹線開業を活かした青森・道南広域観光圏の形成(渡島、檜山) など

北海道人口ビジョンの概要 ～北海道の人口の現状と展望～

平成27年10月  北海道

北海道の人口動向

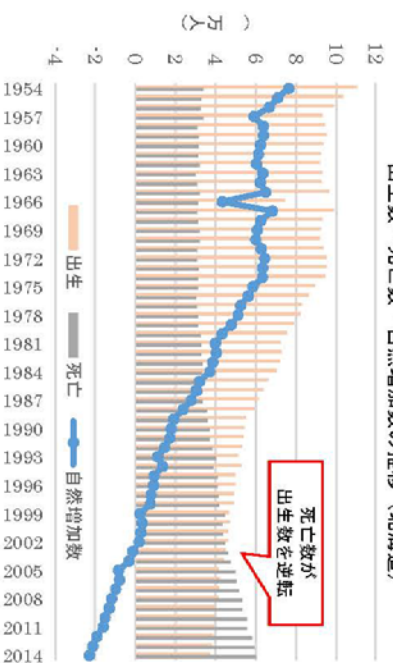
1 総人口



- ・本道の人口は、1997年の約570万人をピークに、全国より約10年早く人口減少局面に入り、2010年の人口はピーク時よりも約19万人少ない550.6万人となっている。
- ・1990年代後半、生産年齢人口は減少に転じ、高齢者人口が年少人口を上回った。
- ・2014年の自然減は約23,000人、社会減は約8,900人となっている。

2 自然増減

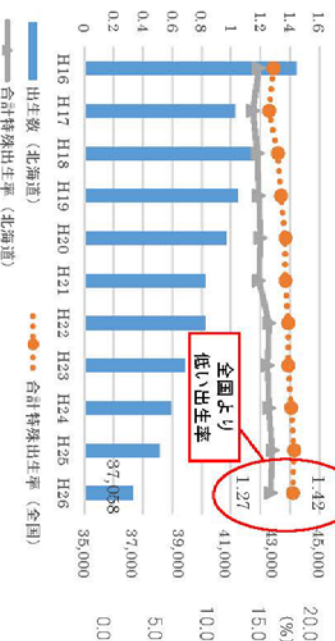
出生数・死亡数・自然増加数の推移（北海道）



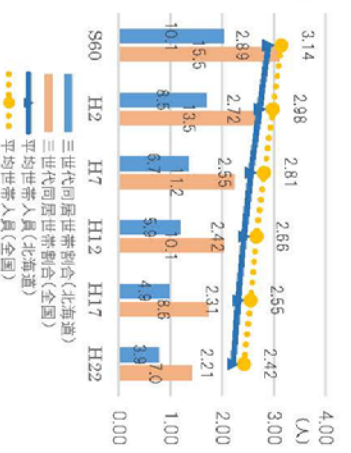
- ・2002年までは、死亡数が出生数を下回っていたため、「自然増」の状態が続いていたが、2003年から死亡数が出生数を上回る自然減に転じている。

- ・未婚・晩婚・晩産化のほか、本道は全国と比較して核家族化が進んでいることや若年者の失業率が高いことなどから、全国より低い出生率が続いている。

出生数・合計特殊出生率の推移（全国・北海道）



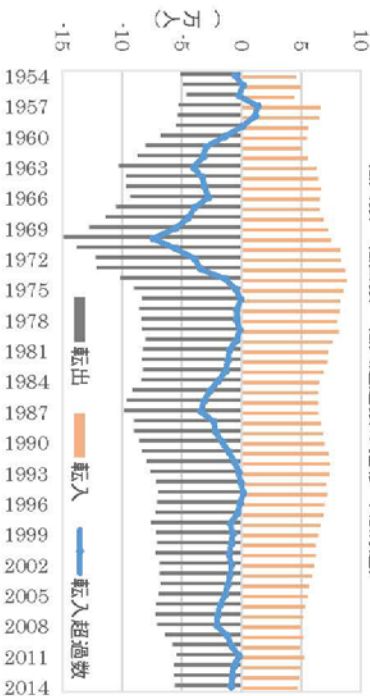
核家族化の状況（全国・北海道）



北海道の人口動向

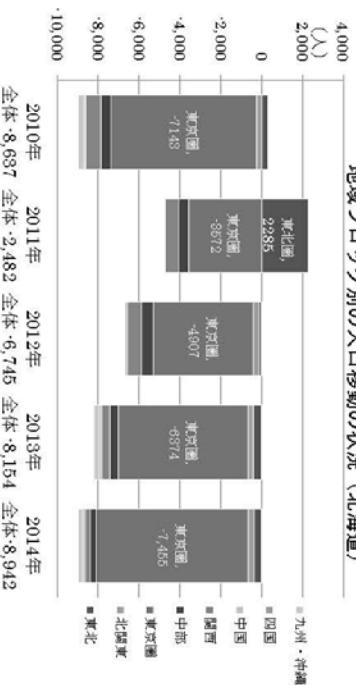
3 社会増減

転入数・転出数・転入超過数の推移（北海道）

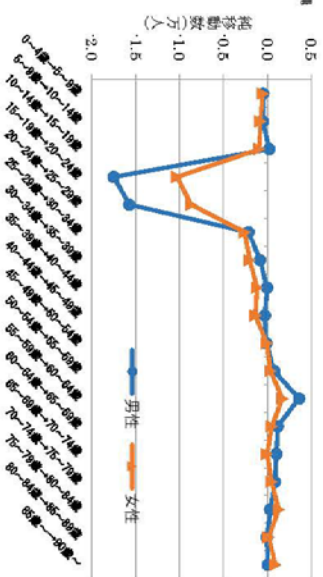


- ・半世紀にわたり道外への転出超過が続いており、その主な要因は若年者の進学・就職に伴う首都圏への転出であると考えられ、特に男性の転出超過が顕著である。

地域ブロック別の人口移動の状況（北海道）



性別・年齢階級別の人口移動（北海道） 2005年～2010年



4 札幌市への人口集中

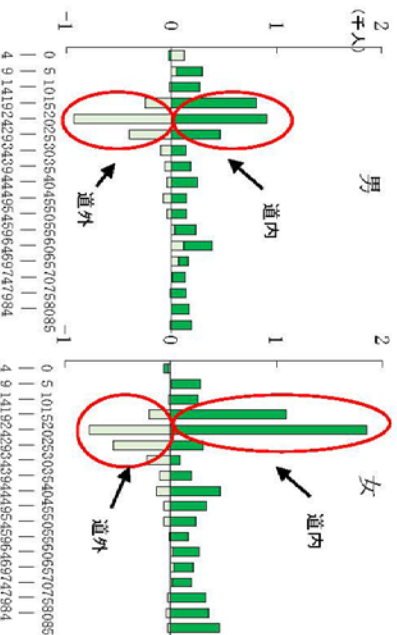
札幌市への人口集中割合（1970年～2010年）

	1970年	1980年	1990年	2000年	2010年
北海道	5,184,287	5,575,989	5,643,647	5,683,062	5,506,419
札幌市	1,010,123	1,401,757	1,671,742	1,822,368	1,913,545
割合	19.5%	25.1%	29.6%	32.1%	34.8%

(A)

- ・札幌市への人口集中が進んでおり、20～24歳の男性については、札幌市から道外への転出と道内他市町村からの転入が拮抗しているが、同世代の女性は道内他市町村からの転入が多い。
- ・全道人口の3分の1を占める札幌市の低い出生率は、北海道全体の出生率に大きく作用している。

男女・道内・道外・年齢別転入超過数
（札幌市 2014 (H26) 年）



21 大都市の合計特殊出生率（H20～24年）

